

西区役所跡地に 特養ホーム公募

医療機関併設型

名古屋市の19日、老朽化に伴って2010年に移転した旧西区役所・西保健所跡地(西区押切)に医療対応型特別養護老人ホームを整備するため、民間事業者

の公募を始めた。来年2月に事業者を決定し、21年度の施設完成を目指す。

跡地を巡って、地域から福祉施設の整備を求める要望が上がっており、市は対応を進めてきた。しかし、条件選定などに手間取り、ようやく公募にこぎ着けた。約3600平方メートルの敷地内には旧庁舎が今も残り、解体作

業が必要になるという。

医療対応型特別養護老人ホームは医療機関を併設し、看護職員が24時間常駐するなどの要件を満たす施設。公募はプロポーザル方式で、11月26日～12月3日に参加表明を募って、来年1月31日～2月7日に事業者から提案を受ける予定だ。